

平成 28 年 8 月 18 日

各 位

上場会社名 株式会社 郷鉄工所
 代表者名 代表取締役社長 長瀬 隆雄
 (コード番号 6397)
 問合せ先責任者 常務執行役員 若山 浩人
 (TEL. 052-586-1123)

特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 8 日付「当社一部事業の廃止及び固定資産の譲渡に関するお知らせ」に係る精査が終了し、特別利益及び特別損失を計上するとともに、平成 28 年 8 月 10 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で開示いたしました要因も含めた、平成 29 年 3 月期の業績予想に係る売上高及び利益の減少見込み額が明確になりました。これらに伴い、一旦未定とさせて頂いておりました業績予想について、改めて取りまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の計上について

平成 28 年 8 月 8 日付「当社一部事業の廃止及び固定資産の譲渡に関するお知らせ」により、固定資産（配管事業用設備資産及び技術的情報）を譲渡した結果、固定資産売却益約 126 百万円を特別利益とし、また、配管事業の廃止に伴う従業員退職金約 15 百万円を特別損失とし、各々、平成 29 年 3 月期第 2 四半期に計上いたします。

2. 業績予想について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	1,794	△362	△390	△293	△21.96
増減額 (B) — (A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参 考)	前々回発表予想 (C)	2,996	29	0	△0.50
	増減額 (B) — (C)	△1,202	△391	△390	
	増減率 (%)	△40.1	—	—	—
	前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期 第 2 四半期)	1,892	△155	△180	△194

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—	
今回発表予想 (B)	4,658	△349	△402	△306	△21.00	
増減額 (B) — (A)	—	—	—	—		
増減率 (%)	—	—	—	—		
(参考)	前々回発表予想 (C)	6,195	72	23	10	0.83
	増減額 (B) — (C)	△1,537	△421	△425	△316	
	増減率 (%)	△24.8	—	—	—	
	前期実績 (平成 28 年 3 月期)	3,831	△699	△751	△903	△74.62

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	
今回発表予想 (B)	1,767	△390	△293	△21.96	
増減額 (B) — (A)	—	—	—		
増減率 (%)	—	—	—		
(参考)	前々回発表予想 (C)	2,969	0	△5	△0.41
	増減額 (B) — (C)	△1,202	△390	△288	
	増減率 (%)	△40.5	—	—	
	前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期 第 2 四半期)	1,892	△155	△180	△16.09

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	4,600	△402	△306	△21.00

増減額	(B) - (A)	-	-	-		
増減率	(%)	-	-	-		
(一) 参 考	前々回発表予想	(C)	6,137	23	11	0.91
	増減額	(B) - (C)	△1,537	△425	△317	
	増減率	(%)	△25.0	-	-	
	前期実績	(平成 28 年 3 月期)	3,790	△751	△913	△75.44

前々回発表予想から下方修正となった理由

◎売上高の減少の主な要因

- 環境装置部門のうち、太陽光発電設備工事の一部案件の失注約 1,005 百万円（取引先より、当社の状況を勘案して今回は発注を見合わせる旨の申入れがありました。内訳：長野県約 455 百万円、京都府及び和歌山県約 550 百万円）
- ライニング製品部門のうち、配管事業の廃止に伴う減少約 450 百万円（うち、第 2 四半期累計期間は約 110 百万円）

◎営業利益の減少の主な要因

- 環境装置部門のうち、上記の太陽光発電工事の一部案件の失注による売上高減少に伴う売上総利益約 80 百万円の減少及びその他太陽光発電工事の案件（埼玉県）で部材の手配遅れ等による工期厳守の為の追加工事費用約 20 百万円の増加
- ライニング製品部門の売上高減少による売上総利益約 40 百万円（うち、第 2 四半期累計期間は約 10 百万円）の減少
- 販売費及び一般管理費の増加
 - ・太陽光発電設備工事の売掛債権の回収可能性を考慮した貸倒引当金繰入約 85 百万円
 - ・株主割当有償増資の業務委託費約 20 百万円
 - ・防災用ガスエンジンに係る製造販売実施権取得の為の支払 157 百万円を無形固定資産へ計上する予定でしたが、現時点では販売の量産見込の実現可能な状態でない事から資産計上として処理する事は難しいため、当該金額を調査研究費として計上いたしました。

◎経常利益及び純利益の減少の主な要因

上記「◎営業利益の減少の主な要因」に加えて、上記「1. 特別利益及び特別損失の計上について」に記載した特別利益 126 百万円及び特別損失約 15 百万円を計上した事によるものです。

上記業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上